

領域プロジェクト名称	最新デバイスを活用した生産マネジメントの高度化
担当教員	青山 和浩 教授
プロジェクトの狙い	高い競争力を持つ工場を実現するためには、その工場の状況を把握するために多くの情報を収集し、それらの情報を活用した生産管理が必要不可欠である。近年、グーグルグラスやスマート時計など情報機器の小型化、高性能化が進み、現実を収集し、データ化することが容易となっている。そこで、それらのデータを有効活用した現実のモニタリングとマネジメント技術を実現するためのシステムを設計、試作する。
プロジェクトの内容	研究室で試作している工場モニタリングに関する平成 25 年度の研究室の研究（卒業論文、博士論文）を深化させる。具体的には、論文やシステムを読み、研究を理解し、その理解の上で実行例を作成する。また、関連研究を調査することによって研究マップを再構築し、残された研究課題を抽出する。最後に、それらの課題を解決するための関連研究の調査、アプローチを提案する。
プロジェクト開催場所	工学部 3 号館 3 F 308 生産システム工学研究室
プロジェクト計画	1. 論文を読み、理解した内容を発表する。モニタリング一般に関連する論文を読み、知識を修得する（4 月） 2. 研究室で構築しているシステムを理解し、プログラミング技術を習得して実行例を作成、システムを改良（5 月） 3. 画像処理、データマイニング、シミュレーションに関する知識の獲得。対象研究の課題を整理（5 月下旬 — 6 月上旬） 4. 課題への対応を考えたいうえで、モニタリングシステムを提案する（6 月下旬）
ホームページ	http://www.m.sys.t.u-tokyo.ac.jp/